

2022年3月期 第2四半期 決算説明会



NIPPON SEIKI

2021年 11月 25日

本日まで説明する内容

- 2022年3月期 第2四半期 決算概要
- 中長期成長戦略

本日まで説明する内容

- **2022年3月期 第2四半期 決算概要**
- 中長期成長戦略

	'21年3月期 期末	'22年3月期 第2四半期
日本	10社	9社
米州	7社	5社
欧州	3社	3社
アジア	15社	15社
計	35社	32社

(百万円)

	'21年3月期 第2四半期	'22年3月期 第2四半期	増減 (増減率)
売上収益	88,602	105,001	+ 16,398 (+18.5%)
営業利益	- 2,259	- 1,827	+ 432
税引前利益	- 1,470	- 1,096	+ 373
親会社の所有者に帰属 する四半期利益	- 3,878	- 3,087	+ 790
基本的 1 株当たり 四半期利益	- 67.69円	- 51.19円	+ 16.50円
為替 (USドル)	106.93円	109.81円	2.88 円安

為替レート（期中平均）実績

2022年3月期
第2四半期

(円)

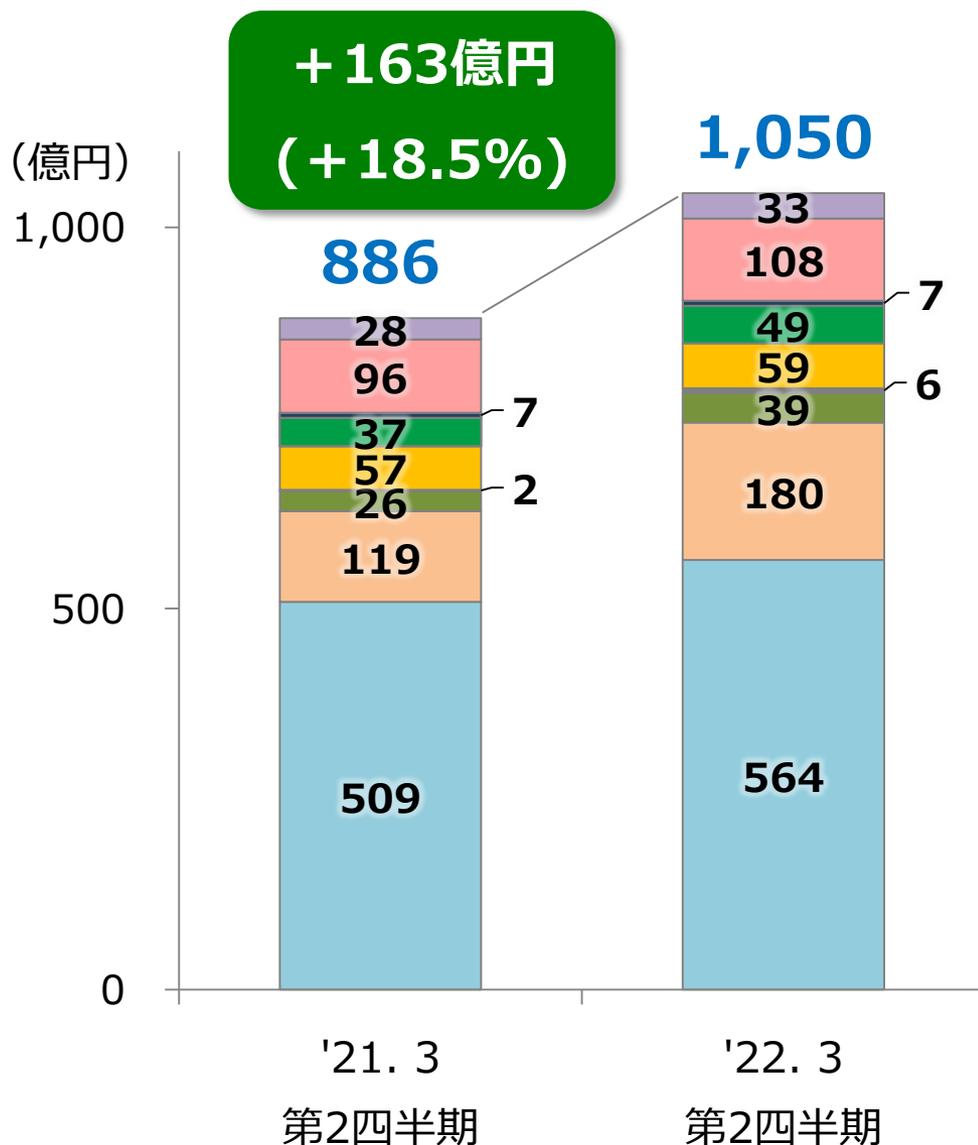
	'21年3月期 第2四半期	'22年3月期 第2四半期	レート差	% (-は円高)
USドル	106.93	109.81	2.88 円安	2.7%
ポンド	135.41	152.49	17.08 円安	12.6%
ユーロ	121.34	130.88	9.54 円安	7.9%
バーツ	3.38	3.42	0.04 円安	1.2%
元	15.26	16.99	1.73 円安	11.3%

為替感応度 : ドル1円の変動につき、営業利益で1.02億円/年

事業別 売上収益

2022年3月期

第2四半期



主な増減要因

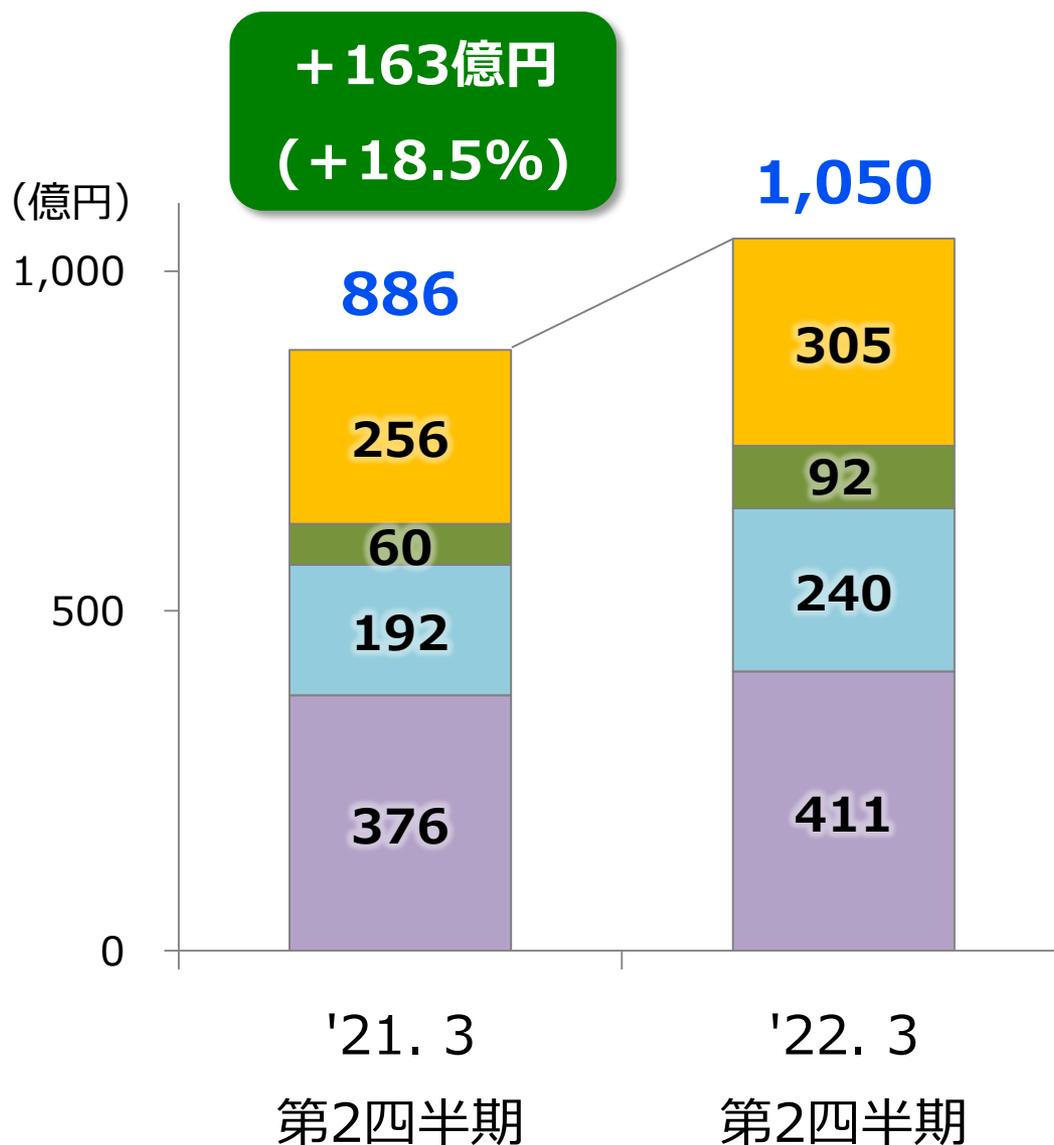
◇ 車載部品	+133億円
四輪計器	+54億円
二輪計器	+61億円
汎用計器	+13億円
◇ 樹脂コンパウンド	+12億円
◇ 自動車販売	+11億円

- その他
- 自動車販売
- ディスプレイ
- 樹脂コンパウンド
- 民生部品
- 車載EMS
- 汎用
- 二輪
- 四輪

所在地別 売上収益

2022年3月期

第2四半期



主な増減要因

◇日本

四輪計器	- 1 7 億円
二輪計器	+ 1 4 億円
汎用計器	+ 1 1 億円
自動車販売	+ 1 1 億円

◇米州

四輪計器	+ 3 9 億円
------	----------

◇欧州

四輪計器	+ 3 0 億円
------	----------

◇アジア

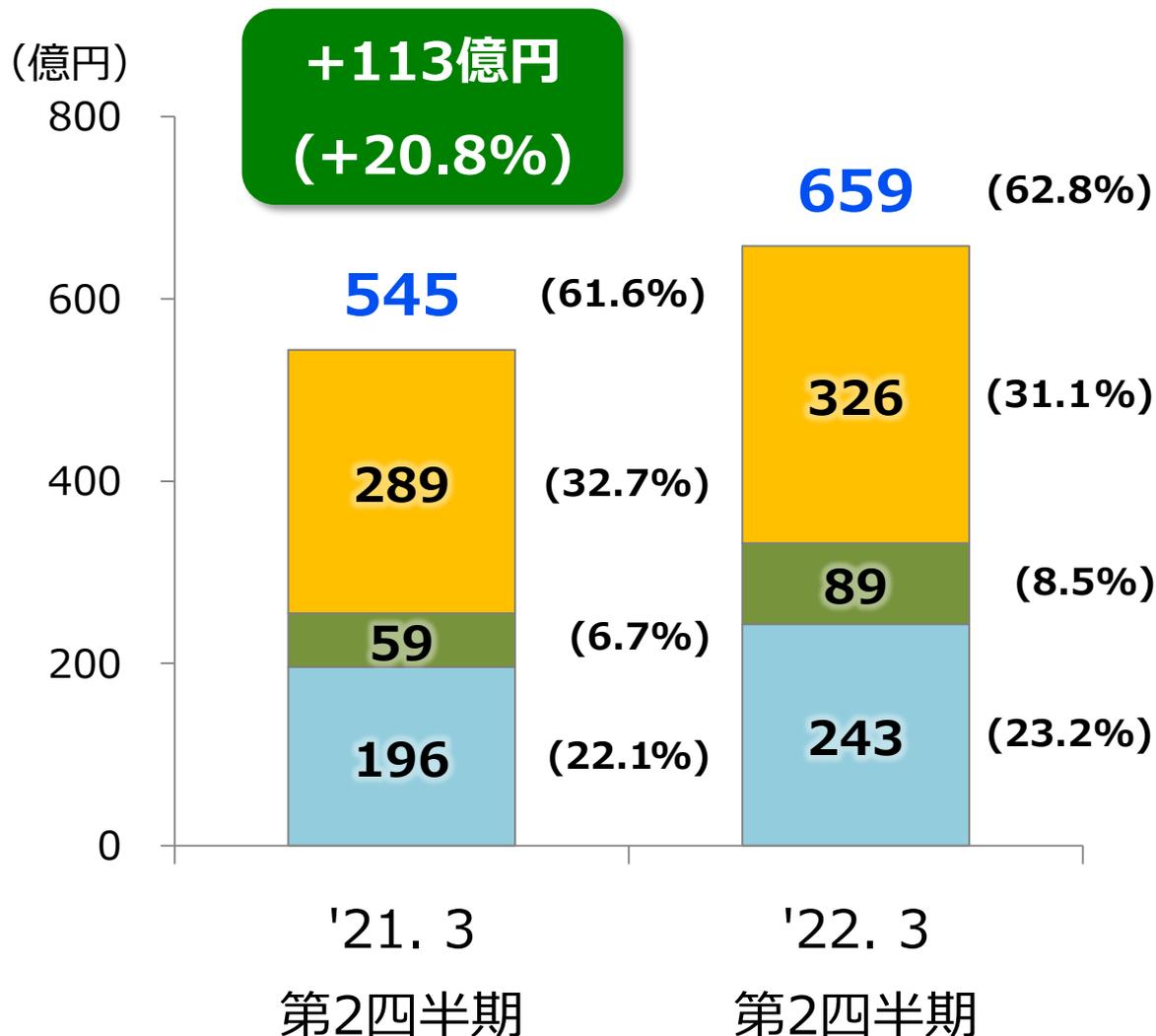
二輪計器	+ 3 6 億円
------	----------

■ アジア

■ 欧州

■ 米州

■ 日本



主な増減要因

◇米州

STELLANTIS・ホンダ向け増加

◇欧州

ダイムラー・BMW向け増加

◇アジア

ホンダ・ヤマハ向け増加

■ アジア

■ 欧州

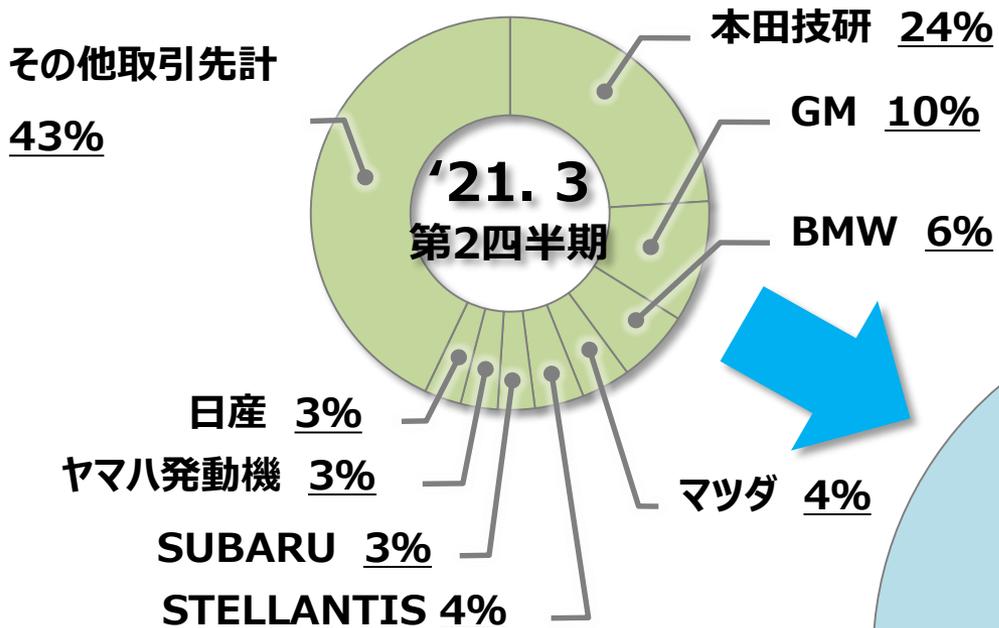
■ 米州

※ () 内は連結売上高に占める海外売上高の割合

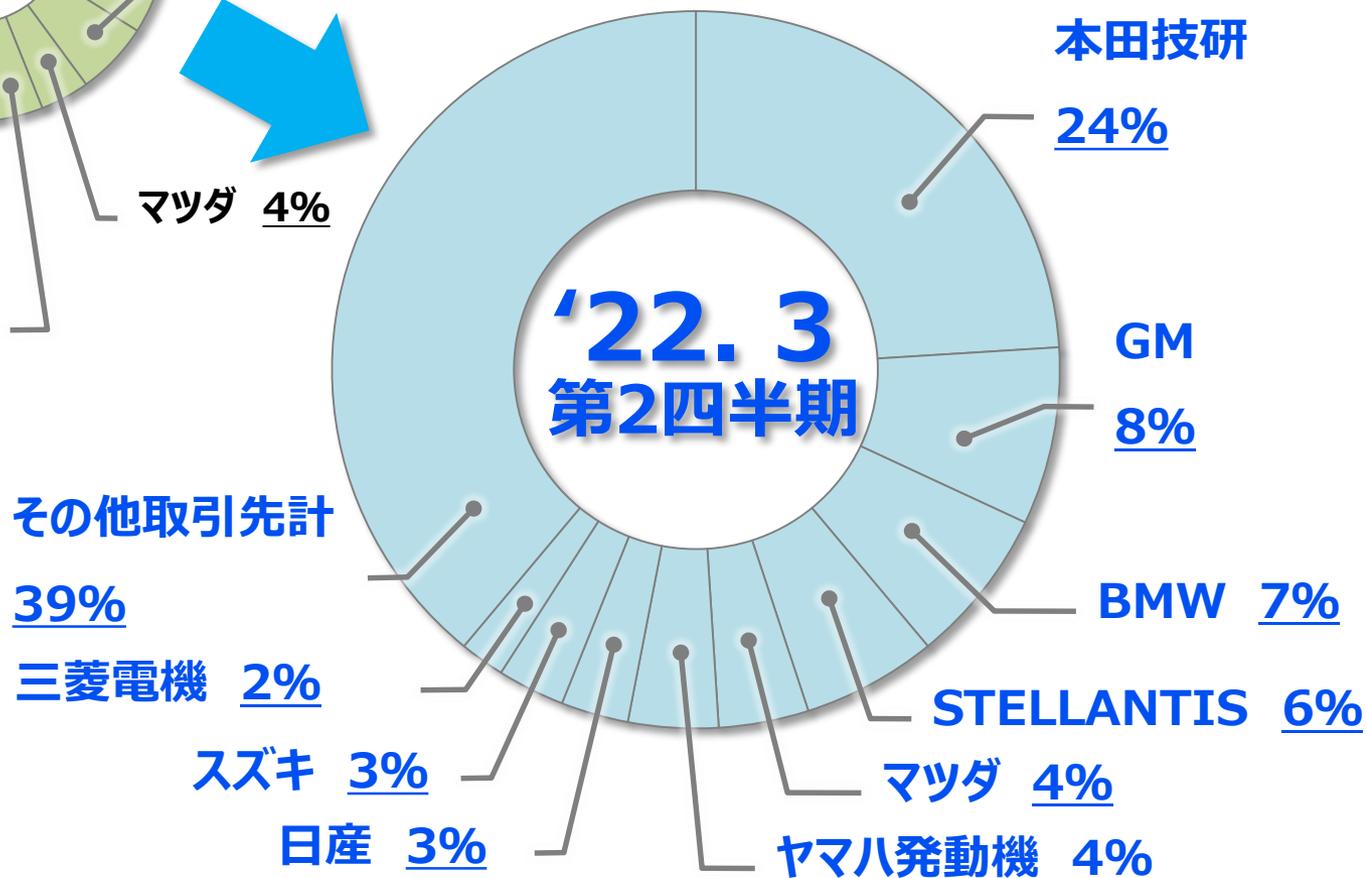
得意先別売上構成

2022年3月期

第2四半期



得意先別売上構成に
大きな変化はなし



事業別 営業利益

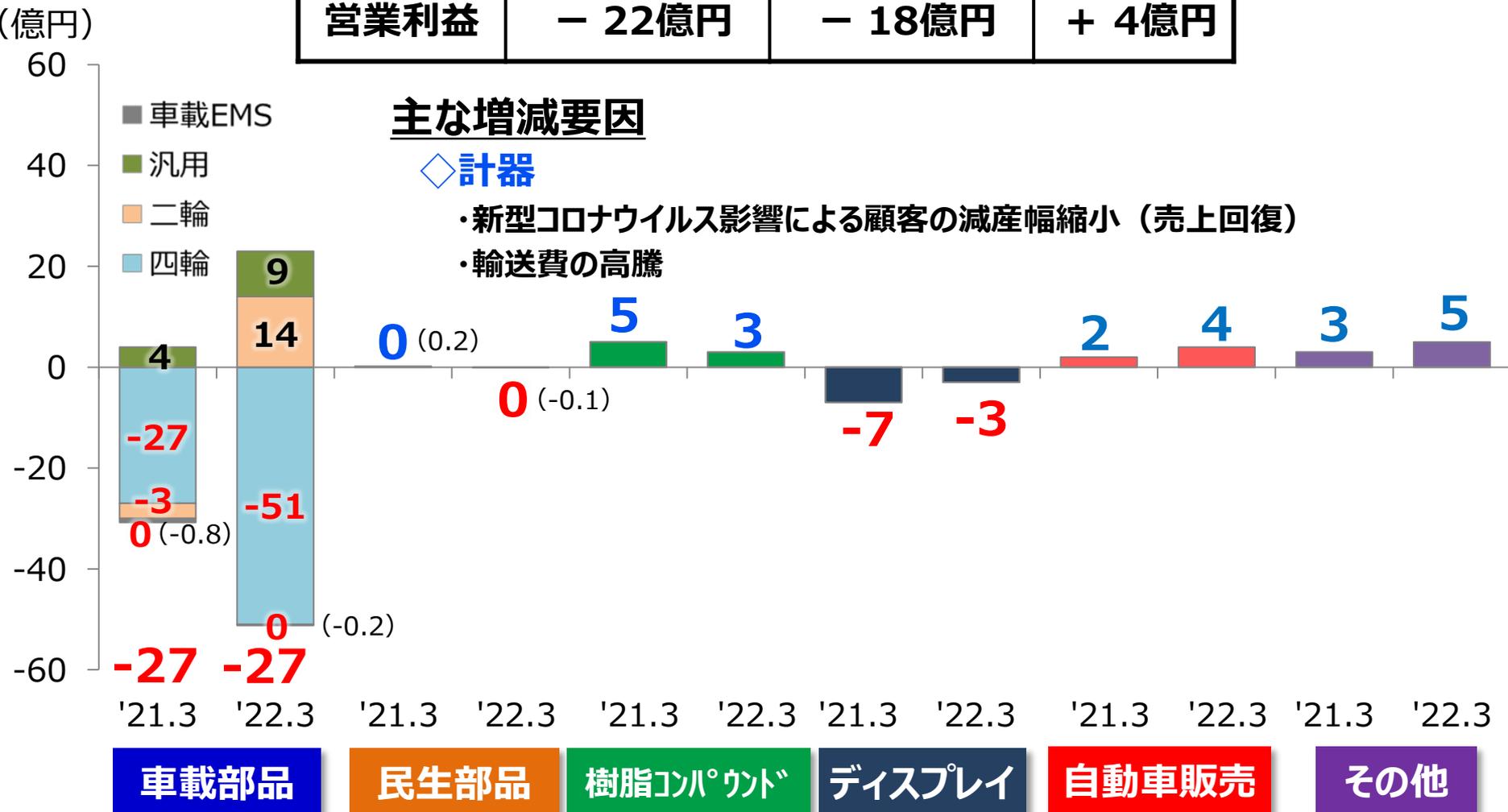
2022年3月期
第2四半期

	'21年3月期 第2四半期	'22年3月期 第2四半期	増減
営業利益	- 22億円	- 18億円	+ 4億円

主な増減要因

◇ 計器

- ・新型コロナウイルス影響による顧客の減産幅縮小（売上回復）
- ・輸送費の高騰



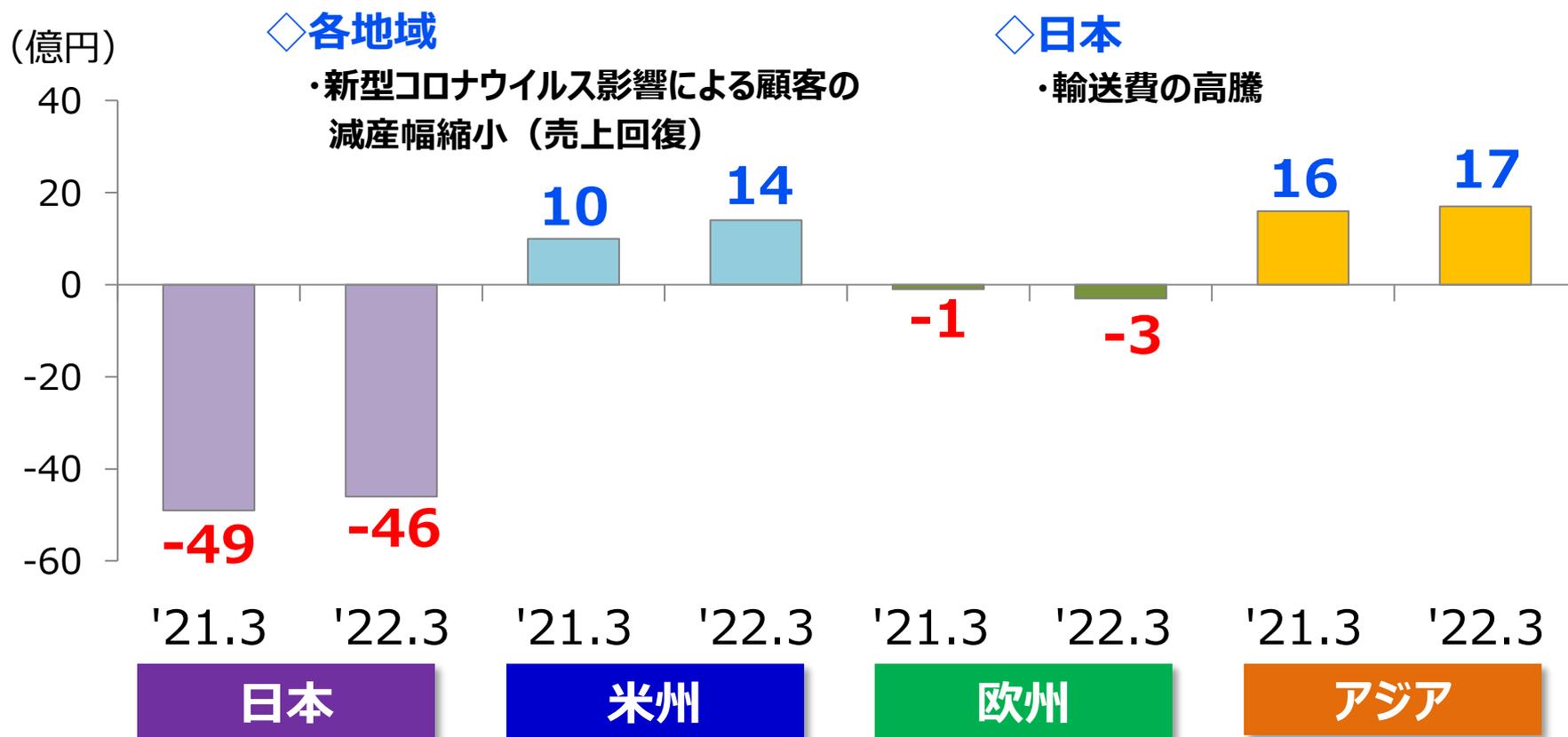
所在地別 営業利益

2022年3月期

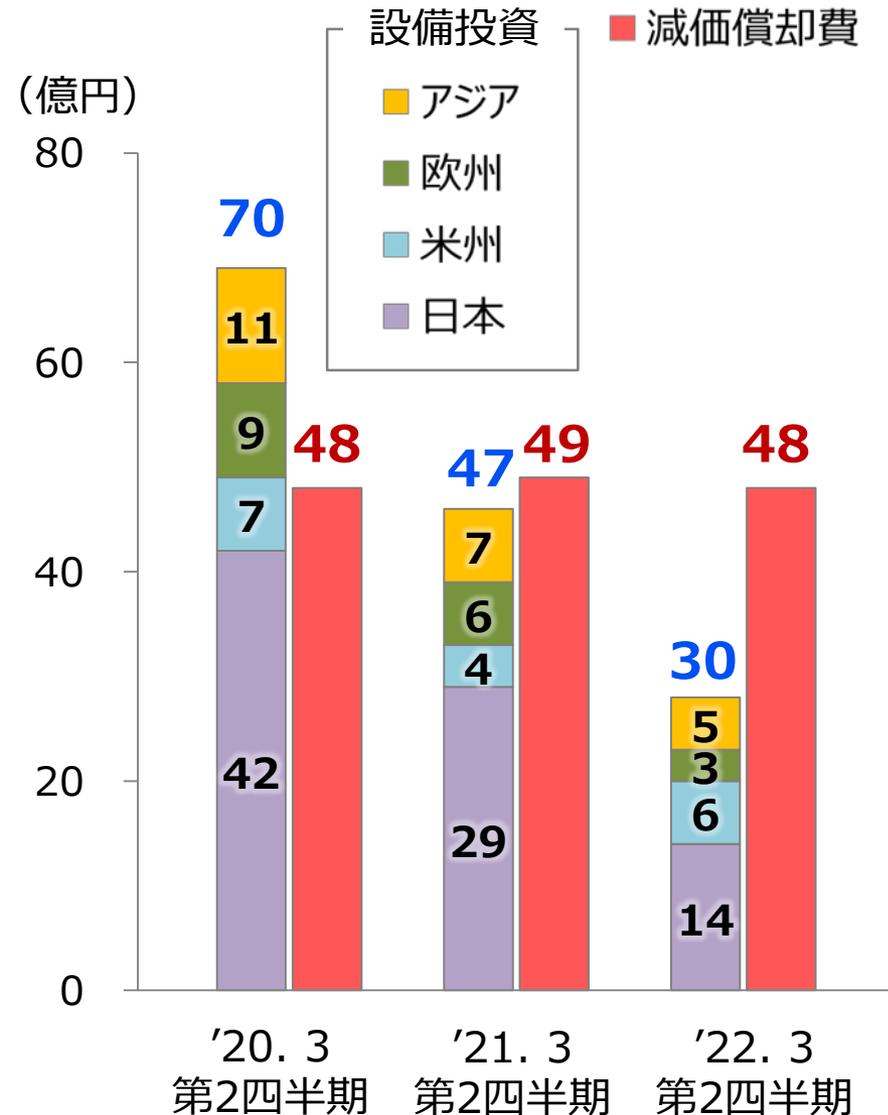
第2四半期

	'21年3月期 第2四半期	'22年3月期 第2四半期	増減
営業利益	- 22億円	- 18億円	+ 4億円

主な増減要因



設備投資額、減価償却費



【地域別内訳】

(主な投資内容)

アジア 5.6 億円

TNS(タイ)	:	2.3 億円 (新機種対応)
NSIP(インド)	:	1.1 億円 (新機種対応)

欧州 3.0 億円

UK-NSI(イギリス)	:	2.1 億円 (新機種対応)
--------------	---	----------------

米州 6.5 億円

NSII(アメリカ)	:	3.2 億円 (新機種対応)
NSMX(メキシコ)	:	2.2 億円 (新機種対応)

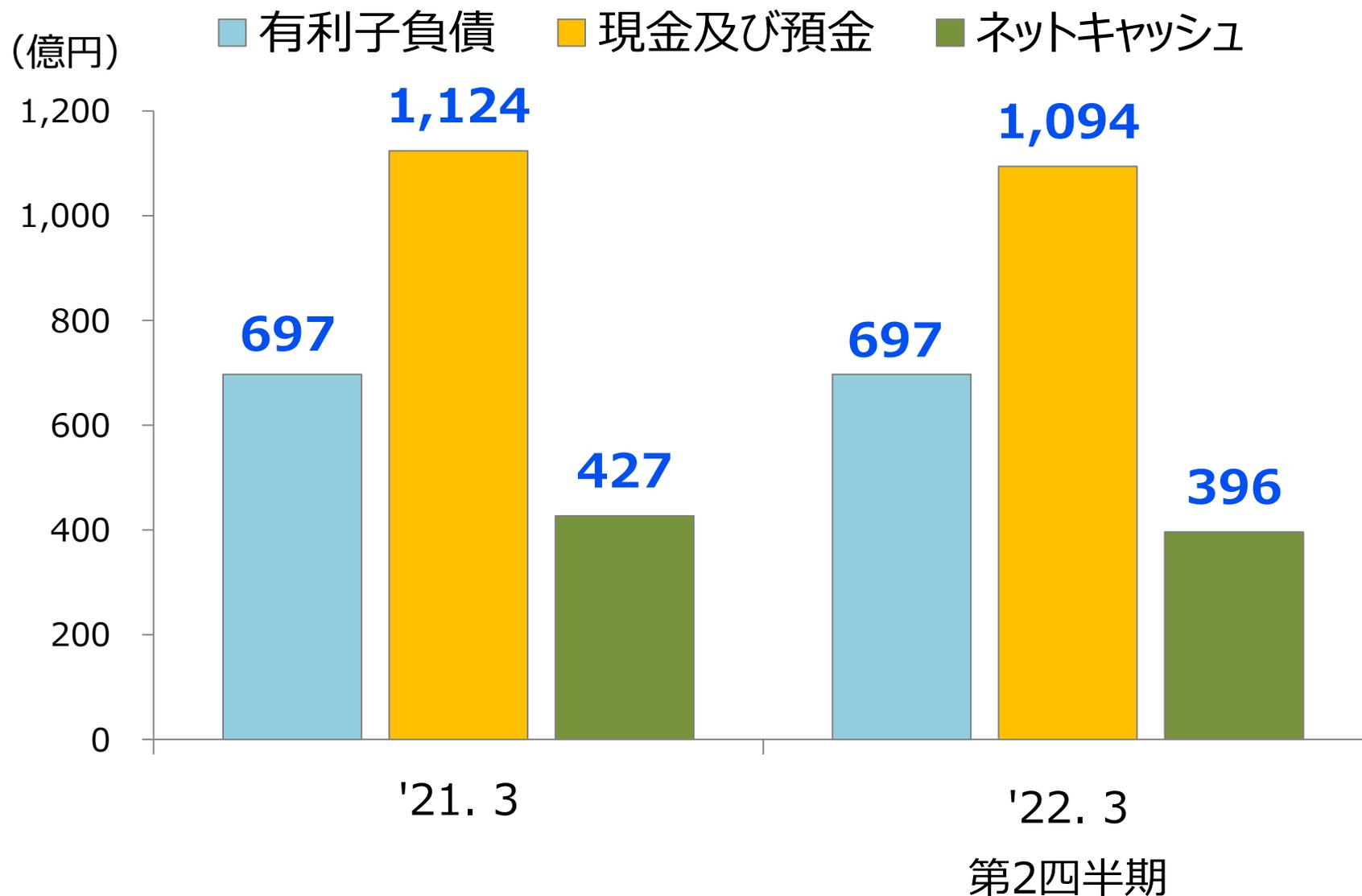
日本 14.8 億円

本社	:	8.3 億円 (新機種対応)
----	---	----------------

有利子負債と現預金

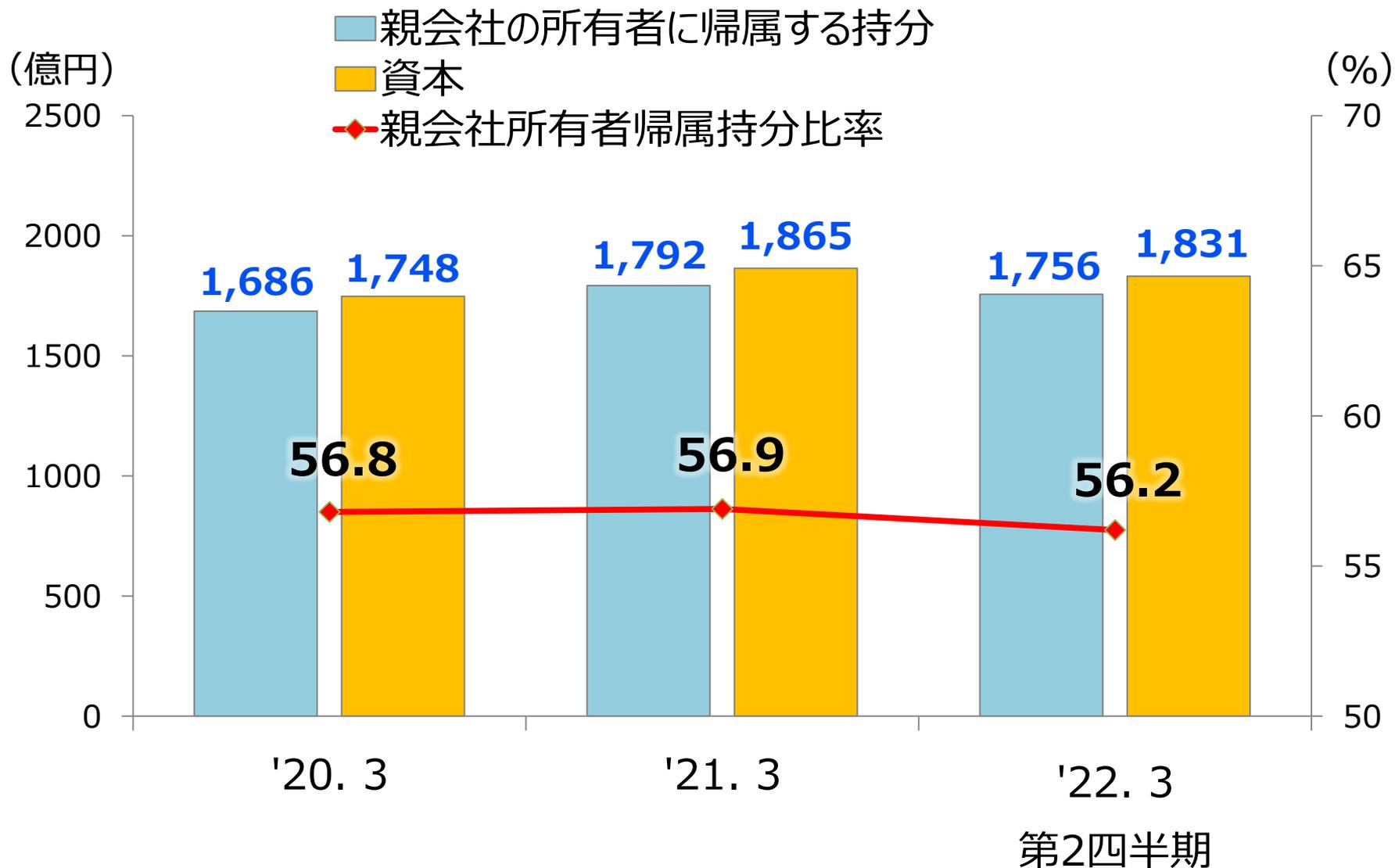
2022年3月期

第2四半期



自己資本額、自己資本比率

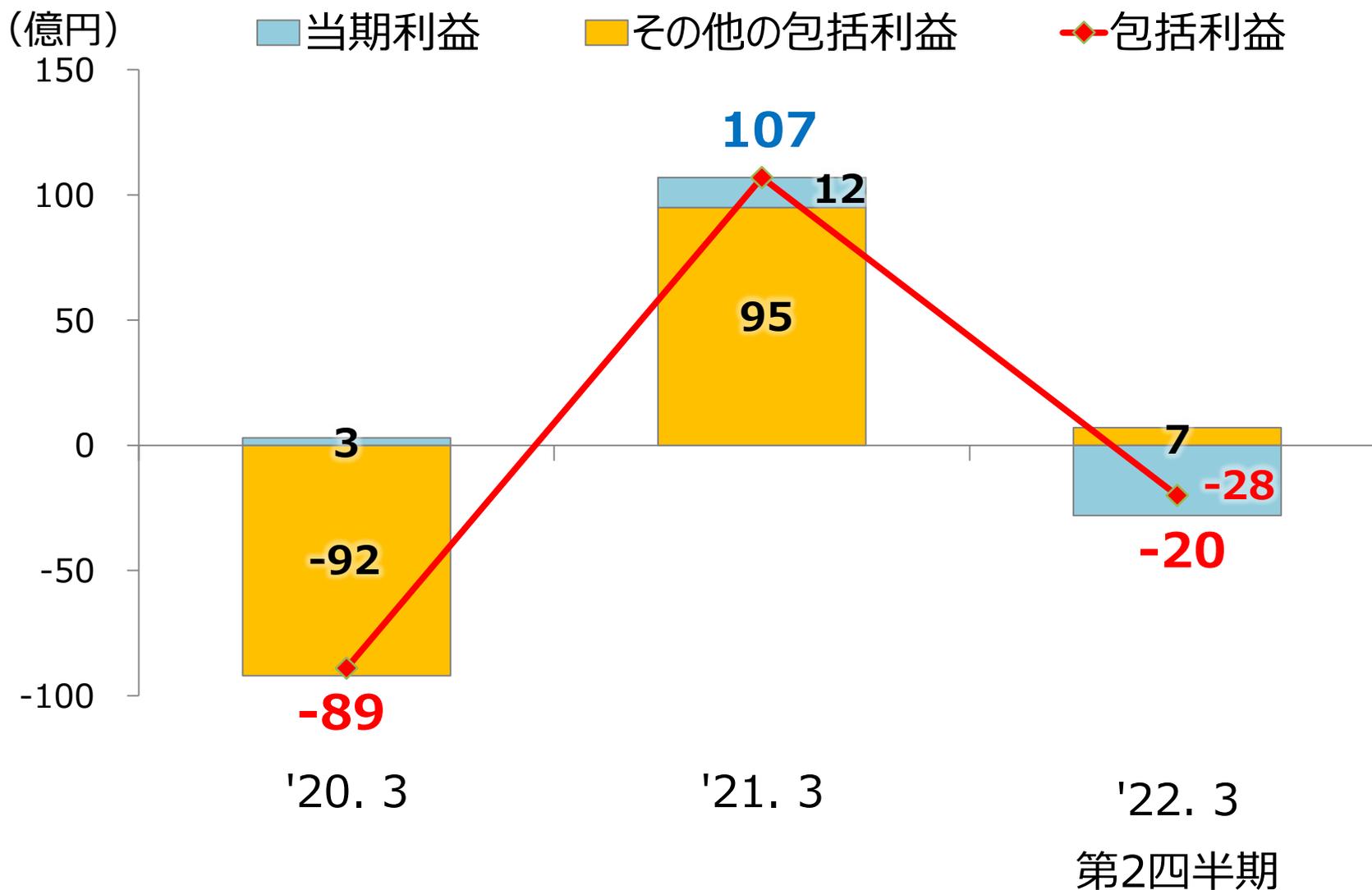
2022年3月期
第2四半期



包括利益

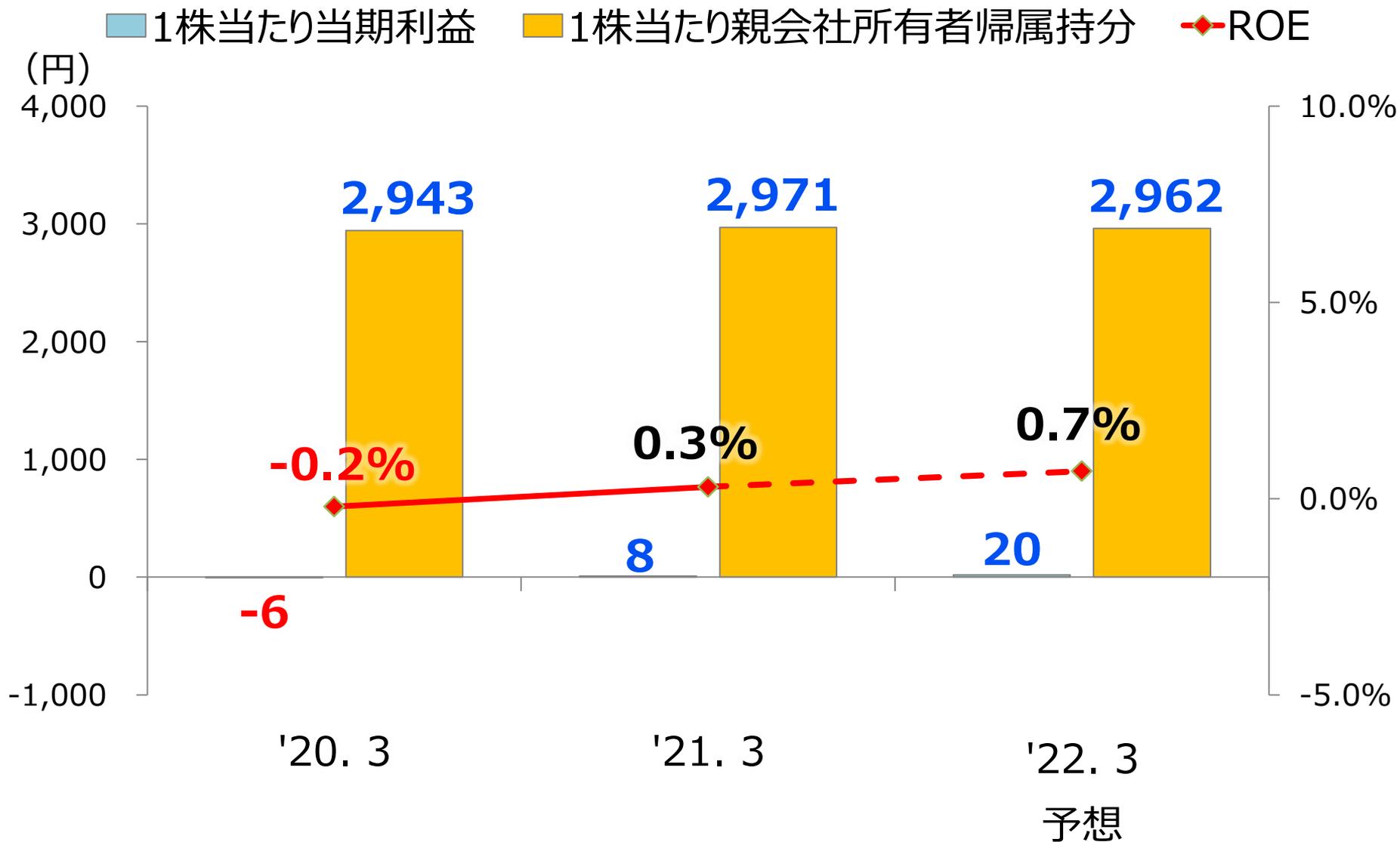
2022年3月期

第2四半期



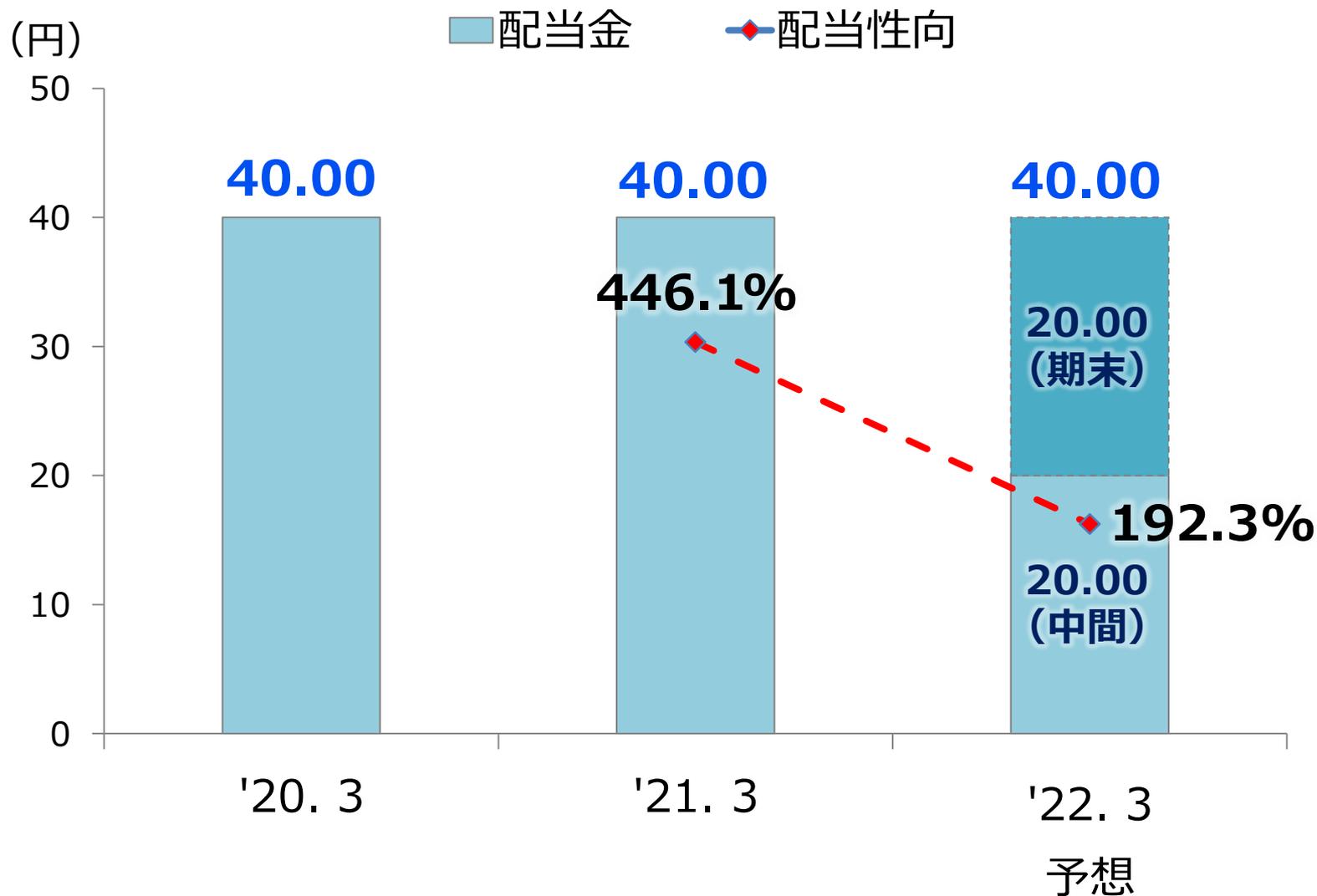
ROE (株主資本利益率)

2022年3月期
第2四半期



株主還元 配当 (連結)

2022年3月期
第2四半期



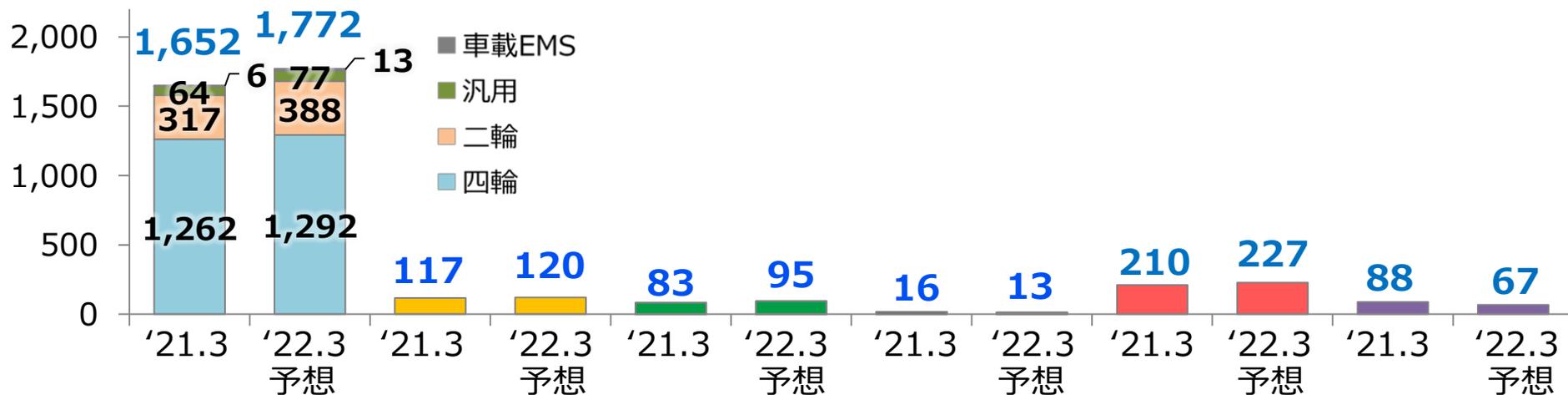
(百万円)

	'22年3月期 (今期予測)
売上収益	230,000
営業利益	3,000
親会社の所有者に 帰属する当期利益	1,200
基本的1株当たり 当期利益	20.8円
為替 (USDドル)	105円

業績予想 -通期- (事業別)

2022年3月期
第2四半期

売上収益 (億円)



車載部品

民生部品

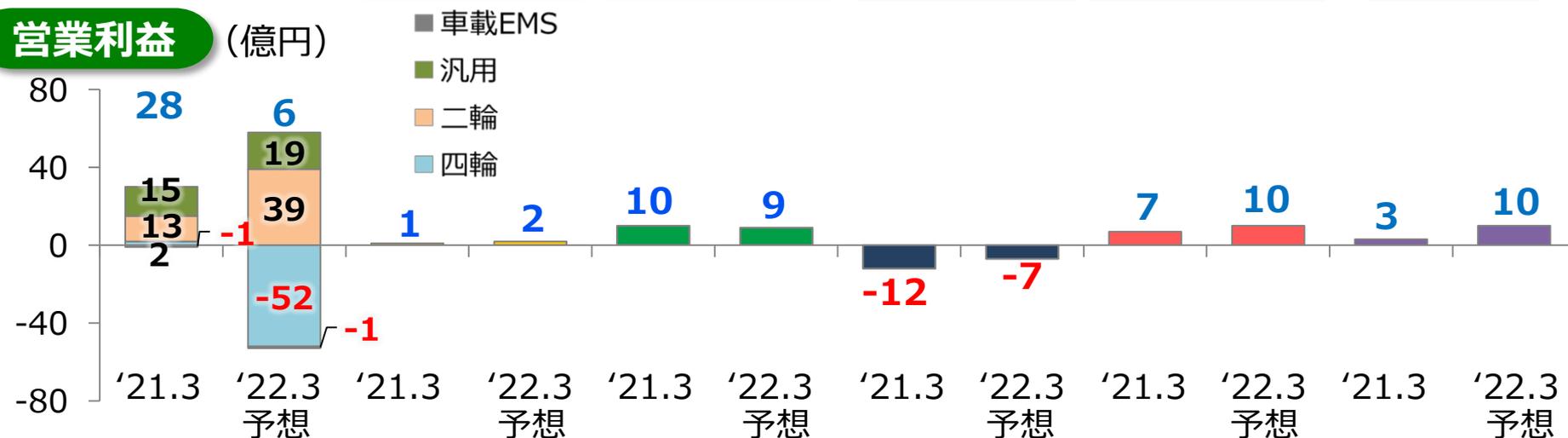
樹脂コンパウト

ディスプレイ

自動車販売

その他

営業利益 (億円)

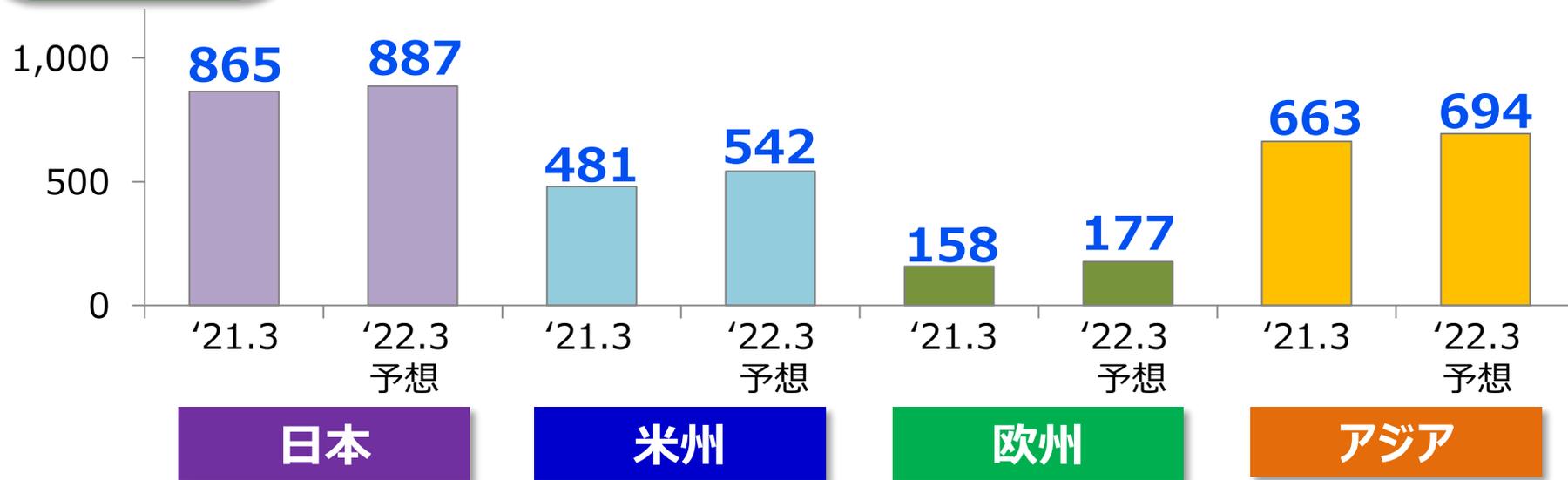


業績予想 -通期- (所在地別)

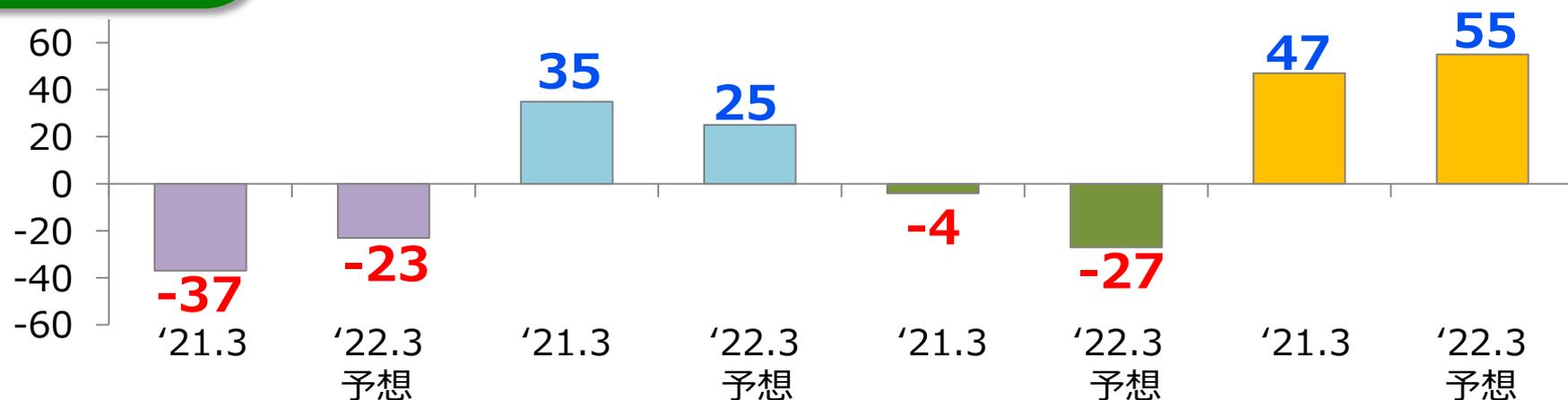
2022年3月期

第2四半期

売上収益 (億円)



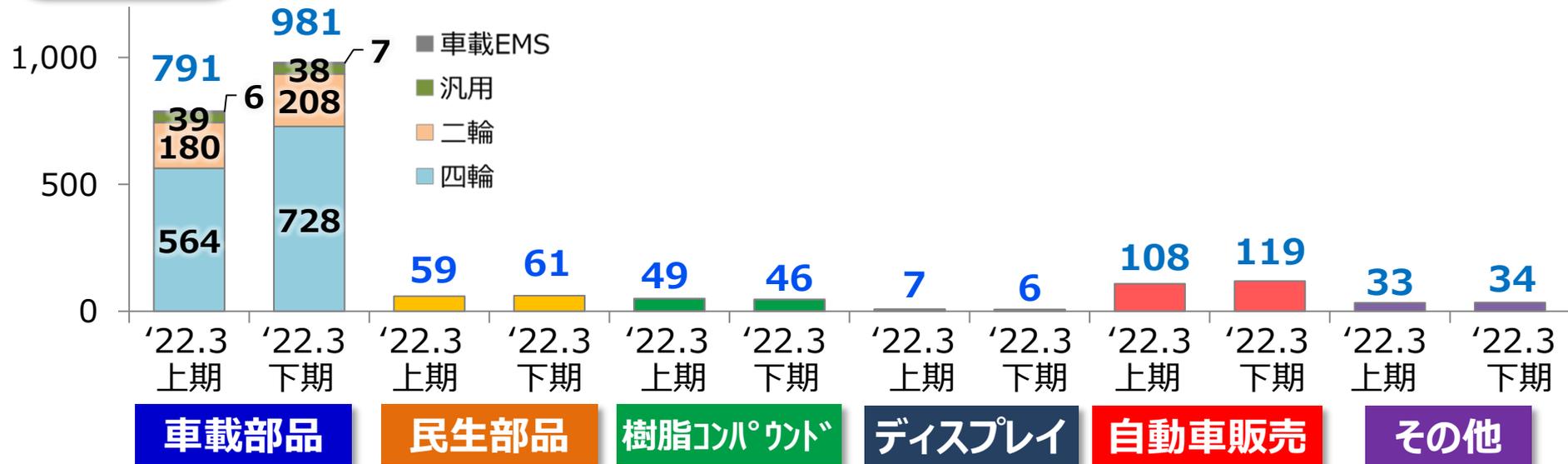
営業利益 (億円)



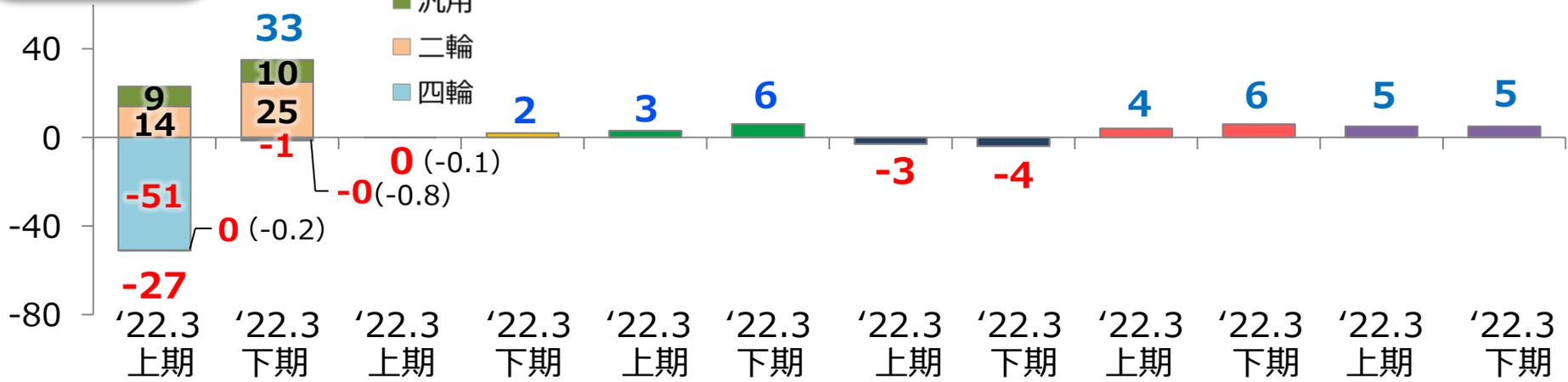
業績予想 - 上期/下期 - (事業別)

2022年3月期
第2四半期

売上収益 (億円)



営業利益 (億円)

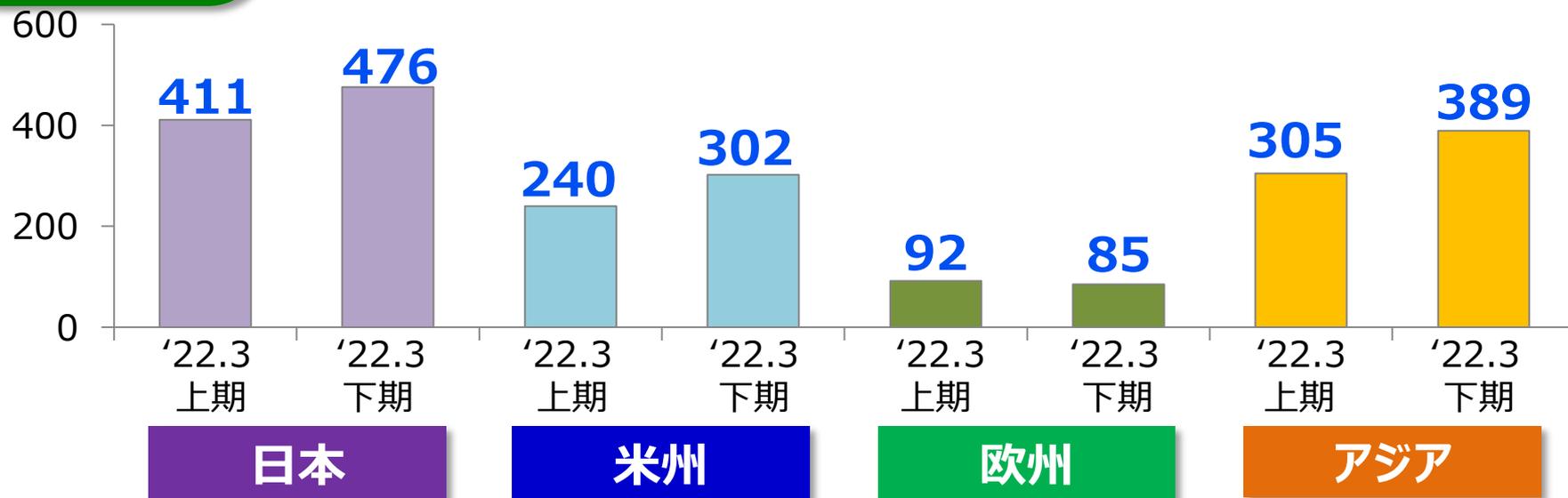


業績予想 - 上期/下期 - (所在地別)

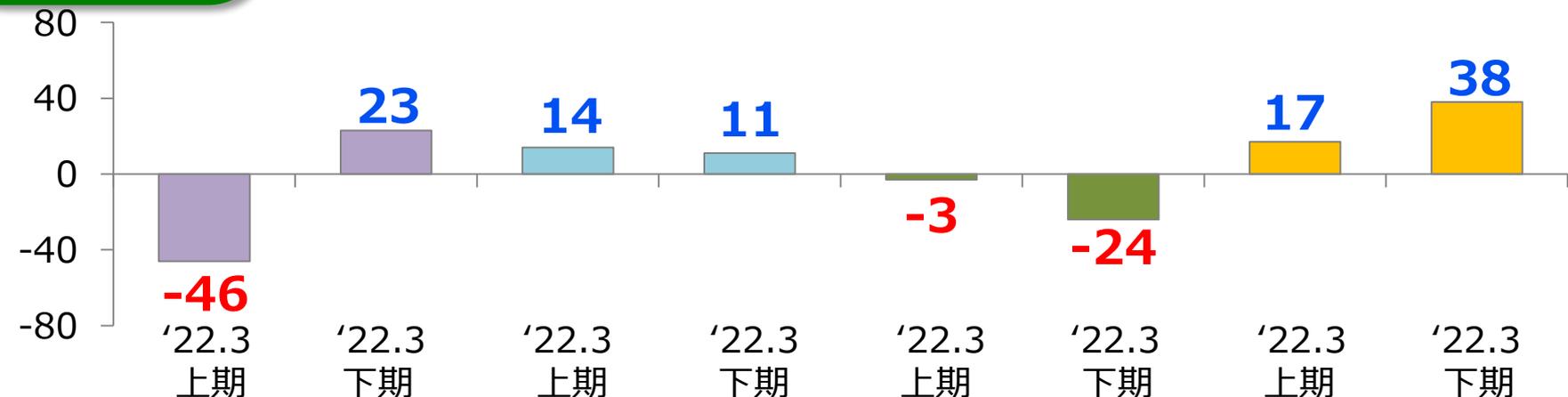
2022年3月期

第2四半期

売上収益 (億円)



営業利益 (億円)



本日まで説明する内容

- 2022年3月期 第2四半期 決算概要
- **中長期成長戦略**

中期経営方針 (2021年～2023年)

車載事業の経営基盤強化と、サービスを含む
事業間連携による新しいビジネスの創造

1. 収益力の強化
2. 経営の効率化
3. 新規ビジネスの実現

2023年度目標

売上高	営業利益
2,650 億円	132 億円 (5%)

主な取り組み

収益力強化 経営効率化

筋肉質な企業体質への変革

- 原価改善プロセスの定着
- 資材費・加工費の低減、現調化推進
- 設計開発拠点の再編
- グループ再編によるオペレーション効率化

事業拡大

車載部品事業の売上拡大

- HUDビジネスの拡大
- 統合コックピットの開発加速

新規ビジネス

事業間連携による新ビジネス創出

- 新商品開発
- 新規サービスの発掘

経営計画達成のための取り組み

収益力強化
経営効率化

1. 設計開発拠点の再編

事業拡大

2. HUDビジネスの拡大

3. 統合コックピットビジネスの拡大

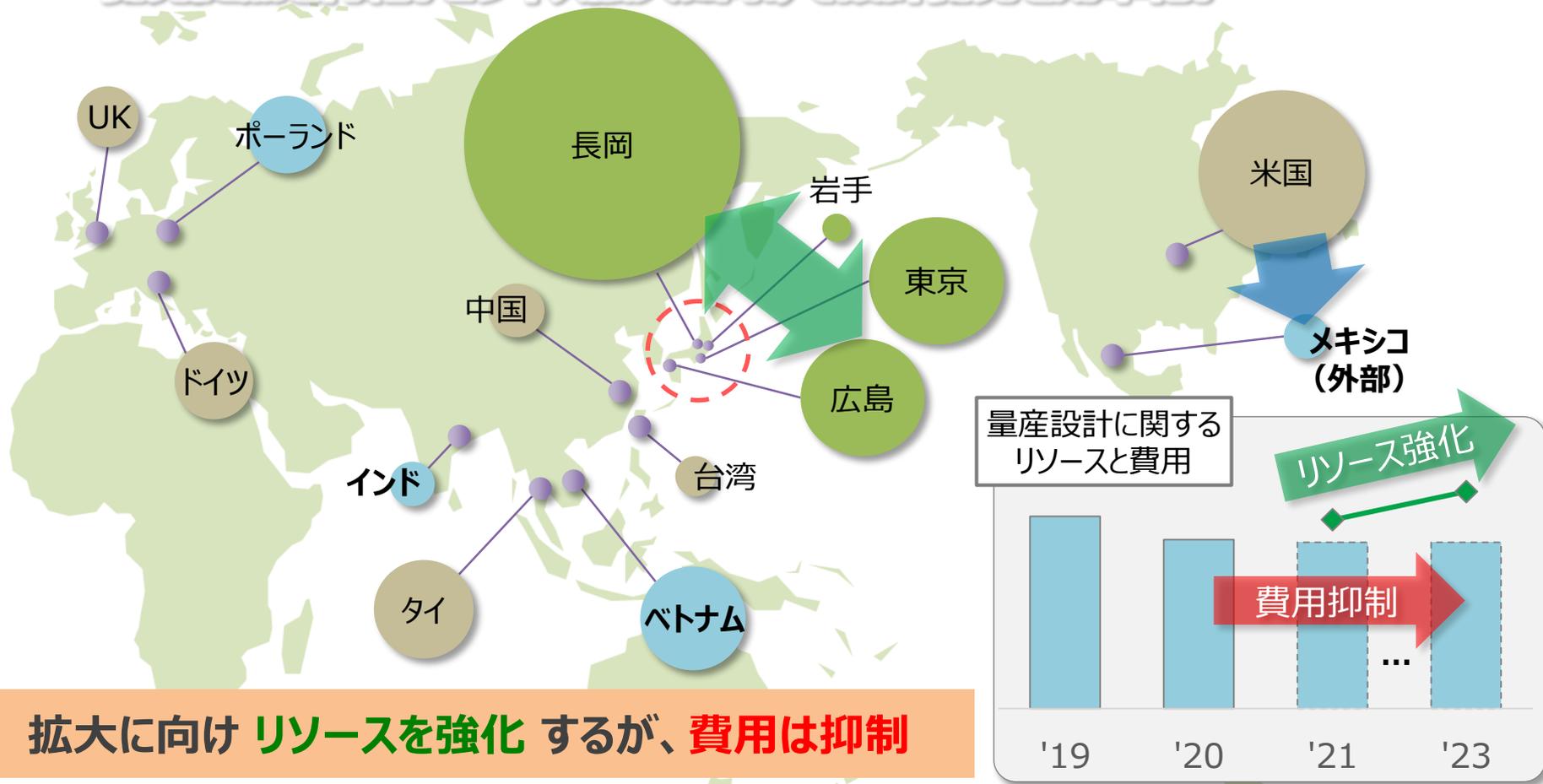
新規ビジネス

4. 新商品開発、新規サービスの発掘

1. 設計開発拠点の再編

現状のリソースアロケーションを基に、コストシミュレーションを実施

設計リソースの補完や、LCC（メキシコ、ベトナムなど）の活用拡大など、開発拠点を再編。ビジネス拡大に向けて設計開発を効率化。



拡大に向け **リソースを強化** するが、**費用は抑制**

2. HUDビジネスの拡大

収益性の向上を図りながら、事業規模を拡大

事業規模拡大

- ボリュームゾーンへの拡大
(小さく、安く)
- 後付けタイプのウインド
シールドHUD挑戦

収益性向上

- 現行量産機種の徹底した
VA/VE
- 高機能HUDの構造変更
- 輸送費の低減
- EU域の現調率アップ



2022年5月、ポーランドにて
HUD生産開始予定



Nippon Seiki Poland Sp. z o.o.

2. HUDビジネスの拡大

自動車市場の成長が期待される中国域で拡販を狙う

中国カーメーカーTOP「吉利汽車」様のHUD受注を獲得



中国域のHUD拡大に伴い、営業・開発・生産体制を再構築



相互補完

四輪・EMS

3. 統合コックピットビジネスの拡大

アルプスアルパインとの資本業務提携により、付加価値の向上

- 統合コックピットの総合的知見獲得
- ADAS進化でリソース不足のOEMに代わり、従来エリアを一手にカバー（インパネ機能の請負）
- 互いに不足する知見やカバーできないエリアを補完

日本精機

アルプス
アルパイン

自動車
向け

メータ、
HUD

オーディオ、
ナビ

統合コックピットの実現、
エンタメ機能の拡充

オートバイ
向け

メータ

デジタルキー、
通信技術

つながるメータ

センサー

車載系
センサー

半導体
センサー

バリエーションの増加



製品・ビジネスの両面で
付加価値を上げる

4. 新商品開発、新規サービスの発掘

自動車関連一本足からの脱却、B to C 販路の開拓

自動車関連以外

15%

21年3月期
売上比率

自動車関連 85%

民生部品

- 既存分野による事業基盤の安定化
- 新分野提案による売上拡大
- 注力分野へのリソースの再配分

サービス関連

- IT・物流などの事業間連携（共同マーケティングによる社会的課題の掘り起こし）
- アイデア提案の仕組み・組織の構築

初のECサイト設立

遠方・全方位360°から、換気の目安を「灯り(光)」でお知らせ

CO₂ Lamp



コロナ禍において生まれた新製品

新技術・新商品・新サービス
による新規ビジネスの開拓

B to C 販路の開拓

10年先を見据えた
新ビジネスへの種まき

エンゲージメントの強化

社会的課題の解決により、持続可能な社会の実現を追求

統合報告書の発行



MS 日本精機株式会社

カーボンニュートラル の取り組み



再生可能エネルギーの活用



樹脂材料リサイクルの推進

健康経営への取り組み



健康経営優良法人
Health and productivity

健康経営優良法人の取得推進



働きやすい職場づくり

ご注意

業績見通しは、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、リスクや不確実性を含んでいます。従いまして、これらの業績見通しのみに依拠して投資判断を下すことは控えるようお願いいたします。実際の業績は、様々な重要な要素により、これら業績見通しとは大きく異なる結果となり得ることをご承知おきください。実際の業績に与える重要な要素には、当社の事業領域を取り巻く政治、経済情勢、対ドルをはじめとする円の為替レートなどがあります。

Your Safety, Our Delight.

安全と安心に満ちた未来のために

